

ゴールデンウィーク連休中の開館日のお知らせ

佐世保市ボランティアセンターの開館日は、以下のとおりです。

開館日 4月27日(土)・4月28日(日) 通常開館
5月1日(水)・5月2日(木) は10時～18時まで開館

休館日 4月29日(月)・4月30日(火)
5月3日(金)～5月8日(水)まで

※5月7日・8日はプラザ休館日のため、ボランティアセンターも休館となりますので、ご注意ください。

皆様にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。



佐世保ー島原ウルトラ ウォークラリーで、活動するボランティアを募集しています

◆開催日◆ 平成31年5月3日(金)～5月4日(土)

◆活動内容◆ 参加者の誘導、飲食物の提供、リタイヤ者の受付など

◆募集場所と時間◆



①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
佐世保	東彼杵	松原	大村	諫早	森山	古部	湯江	島原
市体育文化館横新公園	東彼杵町総合会館	(株)田中工機前	大村市役所	県立総合運動公園	森山支所	(株)長崎清水	ファミマ湯江店	島原城
9:00~13:00	13:00~19:00	15:00~22:00	16:00~0:00	18:00~2:30	20:00~6:00	20:00~6:00	3:00~11:00	6:00~12:00

※食事あり、現地までの交通手段は各自でご検討下さい。また、地点間の移動手段は相談させていただきます。その他、詳しいお問合せはボランティアセンターまでお願いします。

ボラセン情報局



ボラセン情報局では、ボランティアセンターの情報を皆さんにお届けします！

今回は「ボランティア活動保険」をご紹介します。

佐世保市ボランティアセンターでは、ボランティアの皆さんが、安心して活動していただくため活動中の事故等に備えて「ボランティア活動保険」の加入を勧めています。

「ボランティア活動保険」は、ボランティア活動中の様々な事故によるケガや、他の人にケガをさせたり、物を壊したことにより損害賠償責任を負われた場合を補償する保険です。

【補償内容の一部】

- ◆活動場所と自宅との往復途上の事故も補償の対象となります。(ただし通常の往復経路であること)
- ◆ボランティア自身の食中毒や感染症、熱中症も補償されます。その他、詳しくはボランティアセンターにて配布しています「ボランティア活動保険」のパンフレットをご覧ください。



1名分の保険料

	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円

(他に天災タイプもあります。)

補償期間は、加入日の次の日から来年3月31日迄。
加入申込みはボランティアセンター、または社会福祉協議会で受け付けています。
活動を始める前に加入しておきましょう。

あなたらしさで広がるボランティア くれよん KUREYON



2019年度 第1号
平成31年4月1日

★特集★

子どもへの愛情で
生まれたボランティア

めの
「布の

えほん かい
絵本の会」



佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)
〒857-0864 佐世保市戸尾町5-1 させぼ市民活動交流プラザ1階
TEL: 0956-23-3905 / FAX: 0956-42-0102 E-mail: kureyon@sasebo-shakyo.or.jp
時間/10:00~18:45(火~土) 10:00~17:00(日)
休館日/月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日



「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

子どもへの愛で出来た
ボランティア

布の絵本の会



肌触りがよい柔らかな布で出来たおもちゃは、子ども達が大好きな物の一つです。今回ご紹介する『布の絵本の会』では、そんな温かみのある布の絵本やおもちゃを一点ずつ手作りで製作し、子育て支援施設などに提供する活動を行っています。発足は昭和59年、『布の絵本の会』は今年で35周年になります。その活動の功績が認められ平成16年に『県民表彰』を、平成18年には『厚生労働大臣表彰』を受けられました。

活動のきっかけは、一冊の“布の絵本”との出会いから

『布の絵本の会』を立ち上げられたきっかけは会のメンバーの副島さんが、ある一冊の布の絵本と出会われたことでした。

副島さんは障がいを持つお子さんのために、特別支援学級の環境作りや、“手をつなぐ親の会事務局”の運営などに周りの皆さんとご尽力されていました。

その中で出会ったのが“りんごがいっぱい”という題名の布の絵本でした。

布で出来た手作りの絵本は、ただ読むだけではなくストーリーに合わせて動物を動かしたり、ボタンやリボンを取ったり、はめたり結んだり出来る画期的なものでした。



『布の絵本の会』活動の様子
一針一針丁寧に縫い上げていきます。



副島さんが出会った布の絵本『りんごがいっぱい』アップリケが丁寧に縫い付けられて、とても丈夫です。

副島さんは「ボタンのかけ方や靴紐の結び方などの日常の動作や、色や数の勉強を親子で遊びながら学ぶことができる、こんな温かくて愛情の籠もった本は見たことがない！」と感銘を受けたそうです。

それから最初の一冊を譲り受け、障がい児をもつ親や仲間達と共に布の絵本の製作を始められました。

今まで製作した布の絵本やおもちゃの数は300個以上に登り、施設や子ども達の元へ渡ったそうです。

こんな所に『布の絵本の会』の作品が！ “こどもひろば あまもば”

佐世保市民におなじみの「九十九島水族館海きらら」にある”こどもひろば あまもば”の遊具コーナーでは、『布の絵本の会』手作りのリアルだけどかわいらしい海の生きもののぬいぐるみで遊ぶことができます。



《海きらら内の遊具コーナー》
沢山の海の生きもののぬいぐるみを
直接触って遊ぶことができます。



《リアルに作られたぬいぐるみ》
ひとつひとつ、型紙作り、布選び、縫い
上げの全てをメンバーで行っています。



《子ども達に一番人気は、こちらの大きなイルカ！》
ぬいぐるみは子ども達が長く沢山遊べるように、
定期的にメンテナンスが行われています。



この情報紙は「赤い羽根共同募金」の配分を受けて作成しています。

その他『布の絵本の会』では、縫製の技術を活かして月に1回、“障害者支援施設にじいろ”を訪問し、衣類の補整、補修作業を行われ、施設入居者の生活を支えられています。

施設入居者の方の要望に応じて、ボタンやゴムの付け替え、古着のリメイクなどを行われています。

副島さんは「活動を長く続けられているのは、会員の皆さんがデザインや裁縫など趣味や特技を活かして製作をし、同じ思いで和気藹々と、楽しく活動しているからです。たとえ一針一針の歩は遅くても、みんなで作品を作り上げる事、それが自分の健康にも繋がっています。海きららの活動では、子ども達が喜んでぬいぐるみで遊んでいる様子を見られて私達も元気を貰っています。それと共に社会貢献が出来ていると嬉しく思います」と語られました。

お母さんの子どもへの愛情から始まったボランティアは、更に多くの子ども達に笑顔を届ける活動へと育ち、今後も続いていきます。

『布の絵本の会』ではメンバーを募集されています。

興味がある方は、ボランティアセンターまでお問合せください。



にじいろでの活動の様子
現在は、古着を鞆に作り替えたい
とのリクエストが多いそうです。



えぬびーおー ボランティア・NPO研修を開催しました

平成31年2月9日、させば市民活動交流プラザにて「新聞社が教える上手な広報のやり方」を開催し、16団体28名の方が受講されました。



講座の様子

講師に長崎新聞社 N I E・読者ふれあい室長 小林 寿人 氏をお迎えして、ワークショップを用いながら、広報やイベントを上手にPRする方法などを具体的に学びました。

参加者からは「パンフレット作りの参考になりました」「とてもわかりやすく“作りたい！”という気持ちになれたことがよかったです」などの感想をいただきました。

長崎いのちの電話 相談ボランティア募集

あなたの優しさを自殺防止の電話相談ボランティアに生かしてみませんか？

- 応募資格 原則として22歳から68歳の方
※所定の研修(養成研修)を終了し、相談員として認定を受けます。
- 応募期間 2019年4月1日(月)～5月28日(火) 当日消印有効
- 受講期間 前期/2019年6月1日～9月21日 後期/2019年10月～2020年9月
- 会場 長崎県総合福祉センター (長崎市茂里町 3-24)
- 受講料 前期/8,000円 後期/24,000円 (別途宿泊研修費 10,000円程度が必要です)
相談員応募者には受講申込書と募集要項をお送りします。下記の事務局までお問合せ下さい。



社会福祉法人

長崎いのちの電話事務局 ☎095-843-4410

※受付時間
9:00～17:00(平日のみ)